

図1：「防長素人義太夫懸賞投票大番附」（河野家文書〈山口市〉583）地域別得票数

人  
**集まる**  
モノ  
**集める**  
記録・記憶  
と  
文書館資料

➡ 13

モノ ⑤

## 新聞社、集める（2）

### 《票を集めて…どうする？》

ここで少し、投票する側に目を転じてみましょう。まず、何のために投票するのか。

投票の動機としては、仲間を推薦したい、自分の名声を高めたい、記念に…等、様々なものがあるでしょう。

ここで注目したいのが2等に入った大道村の内田氏です。同村台道地区は、明治時代におこなわれた義太夫興行の記録があり（内田家文書〈防府市〉）、また地域住民による人形浄瑠璃芝居がある等（『山口県の民俗芸能』）、義太夫が盛んな地域でしたが、このとき、大道村では内田氏だけに票が集まりました。

上の図1は「防長素人義太夫懸賞投票大番附」の各地域の得票数を示したものの、右の表1はその得票数と得票者数の一覧です。これを見ると、山口町以外で1万票以上の票を集めている地域（秋吉・下松・大道）は、いずれも同じパターンで、際立って票を集めた1人と、それ以外

地名	票数/人	地名	票数/人
岩国	1,390/4	吉敷	1/1
久賀	322/2	小郡	9,119/18
柳井津	119/1	名田島	36/11
上関	1/1	嘉川	7,657/1
田布施	23/2	佐山	6,476/2
下松	13,918/1	嘉年	25/1
花岡	126/1	地福	5,346/1
須金	2/1	吉部	47/1
長穂	109/1	萩	3/3
徳山	320/10	三見	1/1
加見	1/1	大田	30/1
富田	2/2	秋吉	52,880/2
福川	8/2	真長田	1/1
戸田	2/1	小野	69/2
三田尻	2,454/6	船木	6,634/4
宮市	1,339/2	藤山	4/1
右田	7/2	小野田	444/2
華城	14/1	三隅	414/1
大道	62,357/1	仙崎	41/4
仁保	1/1	深川	1/1
宮野	309/2	日置	13/2
大内	48/3	人丸峠	2/1
矢田	64/1	向津具	2/1
山口	73,453/66	長府	71/1
湯田	13/7	赤間関	404/6
大蔵	1/1		

▲表1：図1の地域別得票数/得票者数



山口・福岡・広島3県  
素人義太夫懸賞投票  
大番附  
(河野家文書  
〈山口市〉748)

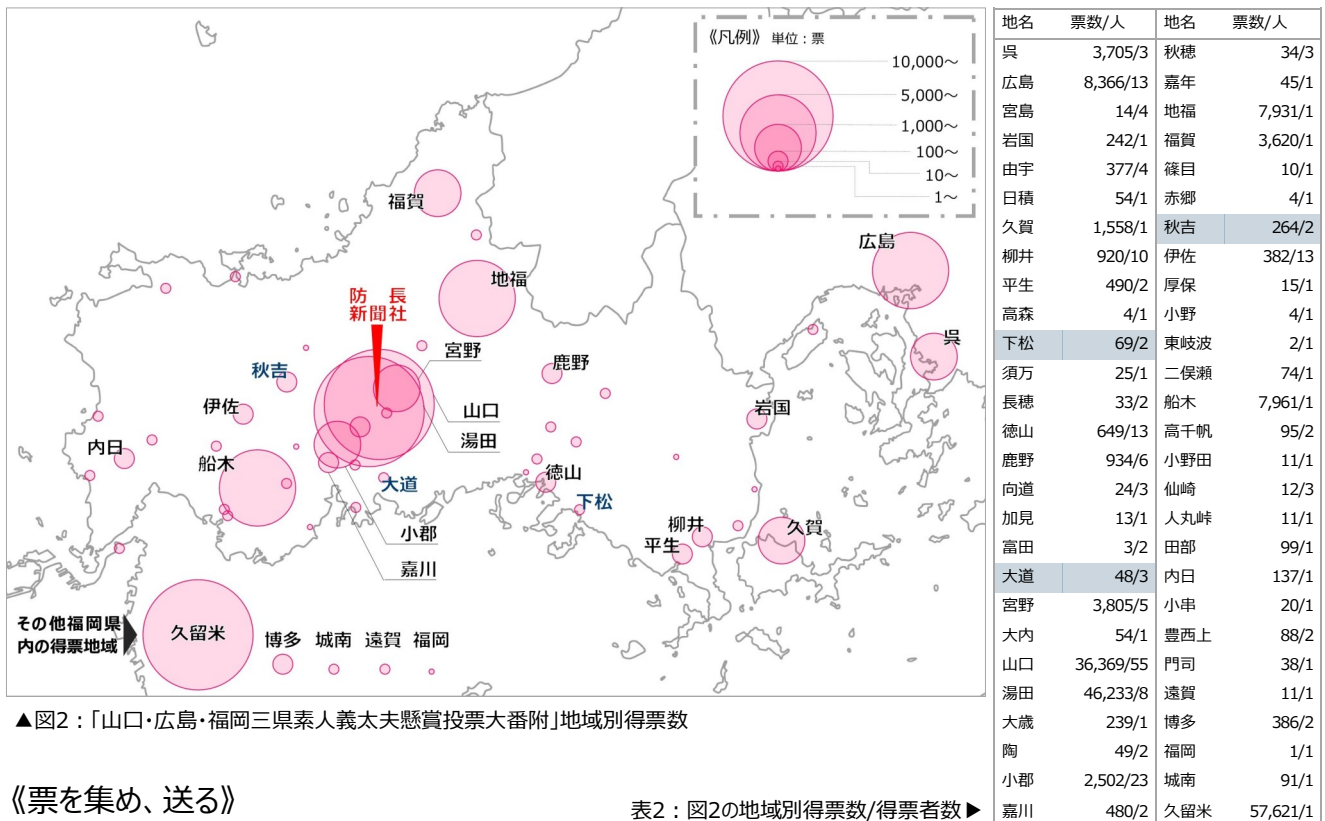
明治35年3月から4月におこなわれた、同様の懸賞投票の番付表です。対象地域が山口・広島・福岡の3県に広がっています。

1位の見台（時価180円相当）以下、懸賞品も高額化しました。最終的に有効票186,226票を集めました。

の数人という構成です（表1アミガケ部分）。このような地域では、賞品狙いで票を集めた可能性があります。

この後の明治35年にも、防長新聞社は、素人義太夫の懸賞投票を、今度は山口・広島・福岡の3県を対象におこないました。そのときの地域別得票数をまとめたのが下の図2・表2です。大道村で得票したのは3人、得票総数は48票にとどまっています。秋吉が264票/2人、下松が69票/2人と、ここでも似たような傾向を示しています。

2年の間に同地の義太夫熱が冷めたわけでも、選出者の技量が落ちたわけでもないでしょう。33年の懸賞品が相当豪華だったことで（シート12）、欲しいところは本気で獲りに行ったために、35年の懸賞では「今回はいいか」という気分だったのでしょうか。33年の総有効票数が24万票超であったのに対し、35年が対象地域を広げても20万票弱だった背景には、多くの人々が1度目の賞品に満足していたという事情もあったのかもしれませんが。



▲図2：「山口・広島・福岡三県素人義太夫懸賞投票大番附」地域別得票数

### 《票を集め、送る》

表2：図2の地域別得票数/得票者数▶

仮に、ほぼ地域を挙げての投票だったとすると、どのくらいの負担感でどのように投票していたのか、62,357票を獲得した2等の内田氏を例に考えてみましょう。

当時の『防長新聞』は日曜休刊でしたので、その分を引いて53日分が投票期間中に発行されたとして、1日平均1,180票近くが投票された計算になります。明治35年段階の台道地区の戸数が600戸弱なので（『角川日本地名大辞典』）、地区全戸が投票に協力すると、1戸1日あたり1～2部購読すれば間に合います。

ただ、当時の新聞の購読率を考えると、全戸で購読していたわけではないでしょう。勿論、近隣地域からの投票もあった可能性は高いです。とはいえ、あくまでも「素人」の人気投票なので、もう少し投票圏を広げられるとしても、市や祭りの際に行き来がある範囲が現実的でしょうか。

店頭価格1部1銭5厘の同紙ですが、53日購入すれば79銭5厘です。なお、同紙は1か月、3か月、6か月、1年の前金払い（定期購読）も可能でした。料金はそれぞれ、35銭、1円、1円80銭、3円24銭に郵送料月13銭が加算されました。ですので、期間中だけ定期購読部数を増やせば、日ごとに取扱店でまとめ買いするよりも安価に購入できそうです。中心的な家数軒が複数部を定期購読扱いにして、近隣住民に票への記入を協力してもらったとみるのが現実的かもしれません（1日に数十・数百票に記入するのは少々時間と労力が必要です…）。

更にいうと、郵送料は当然投票側の負担です。地区の分をまとめて送れば、より費用を抑えられます。数百から千枚規模の投票用紙が、封筒等に雑然と詰められていたらと思うと、シート12でみた送付時のお願いに、「百票ごとにまとめ、上に数を書いて」とあったのも、理解できる気がしませんか。